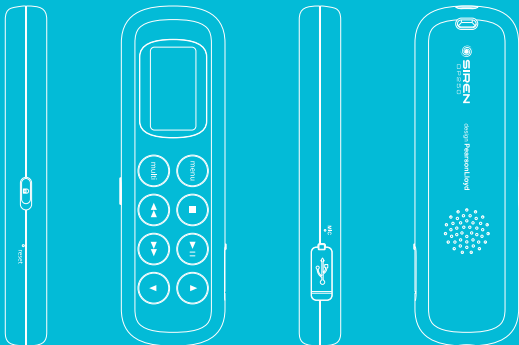




DP250

Digital Audio Player

取扱説明書



最新のカラー版取扱説明書は、SIREN Web サイト [www.sirenjp.com] にアップロードされています。

## ■ 商標と著作権 ■

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で転載する事を禁じます。
- ② 本書の内容および含まれている情報は、予告なく変更される事があります。
- ③ 本書の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- ④ 当社では、本製品を運用した結果の影響につきましては、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- ⑤ 本書内で指示されている内容には、必ず従ってください。本書に記載されている内容を見誤った行為や誤った操作によって生じた障害および損害については、保障期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。

Microsoft、Windows Media および Windows のロゴは米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

# 目次

安全上のご注意 .....	iii
絵表示について .....	iii
安全上のご注意 .....	iv
FM トランスミッター機能について .....	vii
はじめに .....	1
ご使用の前に .....	2
パッケージ内容の確認 .....	2
充電について .....	3
パソコンを使つての充電 .....	3
各部の名称と動作 .....	4
各部の名称 .....	4
各部の動作 .....	5
表示部 .....	10
再生時表示 .....	10
FM ラジオ表示 .....	10
録音時表示 .....	11
メニュー表示 .....	11
準 備 .....	12
パソコンとの接続と切り離し .....	12
接続 .....	12
切り離し (Windows 2000/Me/XP/ Vista の場合) .....	13
CD からの録音方法 .....	15

基本の操作 .....	17
音楽を聴く (基本) .....	17
準備 .....	17
再生の基本操作 .....	18
再生の応用操作 .....	19
音楽を聴く (応用) .....	20
カテゴリーに分けて音楽を聴く .....	20
区間リピートの設定 .....	21
multi キーを使う .....	22
メインメニューについて .....	23
モードを変更するには .....	23
FM ラジオを聴く .....	24
FM 放送を聴く .....	24
よく聴く局を登録する (プリセット) .....	26
自動でプリセットを行う (オートプリセット) .....	27
プリセットした局を聴く .....	28
プリセットした局を削除する .....	29
FM 放送の録音 .....	30
音声の録音 (ボイスレコーディング) .....	31
ボイスレコーディング .....	31
ライン入力 .....	32
準備 .....	32
ライン入力の録音 .....	33
録音データの再生 .....	34

<b>応用の操作</b> .....	<b>36</b>
設定を変更するには .....	36
セッティングメニューの操作 .....	37
イコライザー .....	38
再生モード .....	39
コントラスト .....	40
バックライトタイマー .....	41
オートオフ .....	42
録音設定 .....	43
録音設定について .....	44
言語 .....	46
出力設定を変更する .....	47
multi キーに機能を設定する .....	49
セッティングメニューを初期状態に 戻す .....	50
データの削除 .....	51
間違ってキーを押さないために .....	52
ホールド機能について .....	52
ファームウェアのアップグレードに ついて .....	53
ホームページからのファームウェアの ダウンロード方法 .....	53
ファームウェアのアップグレード 方法 .....	57
リカバリーモードを使つてのファーム ウェアのアップグレード方法 .....	60
ファームウェアのバージョンを 確認 .....	62

<b>その他</b> .....	<b>64</b>
故障かなと思ったら .....	64
本機のリセット方法 .....	65
サポートセンターへの お問い合わせ方法 .....	66
最新情報について .....	67
製品の修理／交換について .....	67

# 安全上のご注意

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保証書と共に大切に保管してください。

## ■ 絵表示について ■

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

## ▶ 安全上のご注意

### ⚠ 警 告

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してサポートセンターに修理をご依頼ください。
- 万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグを  
コンセントから  
抜け

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



水場での使用  
禁止

- 雷が鳴り出したら、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターには触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

## 警 告

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをご使用の際は、ACアダプターをコンセントから抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- この機器の内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。



- この機器のキャビネットは絶対外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理はサポートセンターにご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



## 注 意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



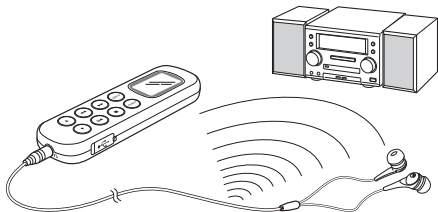
- イヤホンやスピーカー等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
- 再生する前には、音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、本機をスピーカーを使ってお楽しみなる前にも、音量(ボリューム)を最小にしてください。
- 自動車やバイク、自転車の運転中は、イヤホンでのご使用はおやめください。運転の妨げとなり、違法となる場合があります。
- 大音量で長時間音楽を聴き続けると、聴力に支障をきたす場合がありますのでご注意ください。万一、耳鳴がする場合にはご使用を中断してください。





## ▶ FM トランスミッター機能について

- 本機の FM トランスミッター機能は、総務省の定める微弱電波を利用していますので、無線局の免許を受ける必要はありません。お買い上げになったその日からお使いいただけます。
- 本機の FM トランスミッター機能は、微弱電波を利用していますが、もし周りの電子機器や医療機器などに障害を与える場合は使用を中止して、それらの機器から離れた場所でご利用ください。
- 本機の FM トランスミッター機能を使用した際に、周りの電子機器からの影響でノイズ等が発生する場合は、それらの機器から離れた場所でお使いください。
- 本機の FM トランスミッター機能は、日本国の電波法に準拠しております。したがって国外でお使いになると、その国の法律に反する場合があります。
- 本機の FM トランスミッター機能をお使いになる場合は、イヤホンを接続しておいてください。イヤホンがアンテナの役目をしています。したがって、イヤホンを接続していないと FM ラジオが本機から出す電波を受信できなくなります。





# はじめに

## まず、はじめに

この度は本製品をお買い上げいただきありがとうございます。本製品の機能を最大限に利用してあなたの音楽ライフをさらに楽しいものにしてください。この「取扱説明書」では製品の操作方法と機能についてご紹介しています。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」「取扱説明書」をよくお読みください。

## 本製品の特徴

- MP3/WMA (DRM 対応) および WAV ファイルの再生が可能
- Microsoft Windows Technology DRM10 対応\*
- ID-3 タグ (ID3 V.1、ID3 V.2 対応) をサポート
- 日本語と英語表示に対応
- FM チューナー機能、20 プリセットチャンネル
- FM 録音
- 内蔵マイク、音声録音
- オートシンクロ機能付、ダイレクトエンコーディングライン入力録音
- 有機 EL ディスプレー搭載 (白色)
- USB2.0 対応
- 6 種類のプリセットイコライザー機能
- 400mW 高音質スピーカー内蔵
- 車やお持ちの FM ラジオを使って、本機内の音楽データ等を聴く FM トランスミッター機能
- 内蔵リチウムポリマー充電電池を使用し、約 18 時間の連続再生が可能
- バッテリー残量表示
- 対応 OS : Windows Me、2000、XP、Vista
- 本体の寸法は (突起物を含まず) (mm) : 100 (W) × 30.4 (H) × 12.5 (D)
- 重量 : 約 33g (内蔵バッテリーを含む)
- ファームウェアのアップグレード
  - ◆ 最新のファームウェアは SIREN Web サイト [www.sirenjp.com] からダウンロードしてください
  - ◆ ファームウェアのアップグレードをする前に、本機に入っている重要なファイルは必ずバックアップ保存してください

※ Microsoft Windows Technology DRM10 については、DRM10 対応のすべての音楽配信サービスの動作を保証するものではありません。

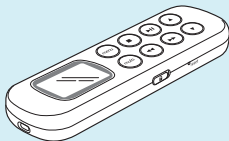
# ご使用の前に

## ▶ パッケージ内容の確認

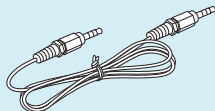


- お買い求めになられて、ご使用の前に下記の物が梱包されていることをご確認ください。万が一、不足がある場合は、当社のサポートセンターまでご連絡ください。

- DP250 デジタルオーディオプレーヤー



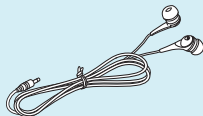
- ライン入力ケーブル



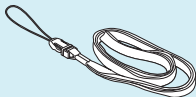
- USB ケーブル (パソコン接続用)



- ステレオイヤホン



- ネックストラップ






- 取扱説明書 (本書)
- クイックガイド
- 保証書
- 録音方法ガイド

## ▶ 充電について


**重要**

- お買い求めになられた製品は充電されておりません。お使いになる前に必ず充電を行ってください。

### ■ パソコンを使っでの充電

- 1** 本機の接続端子と付属の USB ケーブル(パソコン接続用)を接続します。
- 2** 接続した USB ケーブルの USB プラグとパソコンの USB 端子を接続します。
  -  が表示され、電池の残量表示バーが左から右に移動します。
- 3** 表示部の  が左から右へ移動することを確かめてください。
  - 充電開始より約 2 時間前後で  表示になることがありますが、そのままの状態ですら約 4 時間充電してください。フル充電状態になります。また、初めて充電する場合や長期間で使用にならなかった場合は、充電を開始するまでに数分かかる場合があります。開始後約 5 時間ほど充電してください。
- 4** 「パソコンとの接続と切り離し」(P.12 ~ P.14)を参考にして、本機をパソコンから取り外してください。
  - 示は消え、一旦電源を切った状態になり、再度電源が入ることがあります。


**ヒント**

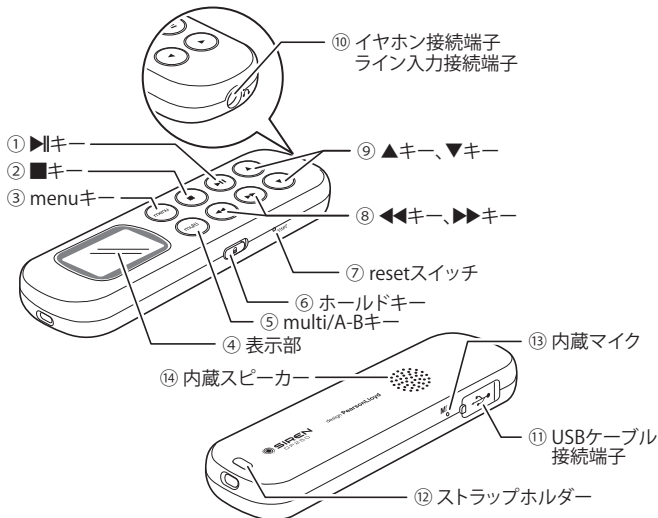
- パソコンと USB ケーブルを接続する場合、パソコンによっては USB 端子の向きが逆場合があります。USB ケーブルのコネクターが入らない場合は無理に挿入せず、逆向きに挿入してください。

※充電用 AC アダプター (別売) での充電中も、 内の残量表示バーが移動します。

# 各部の名称と動作

## 各部の名称

各部の名称と動作



## 各部の動作

各メニュー時の操作によりこれらのキーの機能が異なるキーもありますので、各メニュー操作の説明をご覧ください。

### ① ▶|| キー

このキーを押すと、電源が入ります。

◆ 音楽再生モード時

このキーを押すと、曲の再生・一時停止を行います。

◆ FM ラジオモード時

このキーを押すと、FM 放送の録音の開始、一時停止を行います。

### ② ■ キー

このキーを押し続けると、電源が切れます。

◆ 音楽再生モード時

このキーを押すと、曲の再生が停止します。

◆ FM ラジオモード時

このキーを押すと、FM 放送の録音を停止します。

### ③ menu キー

このキーを押すと、メインメニュー表示になります。(P.11)

#### ◆ FM ラジオモード時

このキーを長く押すと、FM ラジオのセッティングメニューが表示されます。

### ④ 表示部

曲名やアーティスト名等が表示されます。(P.10)

選曲や設定のためのメニューが表示されます。(P.11)

### ⑤ multi キー

このキーを押すと予め登録されている機能呼び出すことができます。  
登録できるのは、次の機能です。

曲の検索、FM トランスミッター、イコライザー、再生モード、出力設定

#### ◆ 音楽再生モード時

音楽再生中に押すと「A-B 区間リピート」の設定ができます。

### ⑥ ホールド(🔒)キー

このキーを左側にスライドさせると、全てのキー操作ができなくなります。



## ⑦ reset (リセット)スイッチ

本機が動かなくなったときには、このスイッチをゼムクリップ等で押してリセットを行ってください。設定等が初期設定になります。  
本機が動かなくなったときに行ってください。

## ⑧ ◀◀ キー、▶▶ キー

### ◆ 音楽再生モード時

▶▶ キーを押すと、次のデータ番号の曲に移ります。

◀◀ キーを押すと、前のデータ番号の曲に移ります。

▶▶ キーを押し続けると、曲の早送りができます。

◀◀ キーを押し続けると、曲の早戻しができます。

曲の早送り、早戻しは、曲の停止中でも行えます。

### ◆ FM ラジオモード時

▶▶ キーを押すと、0.1MHz ステップで周波数が上がります。

◀◀ キーを押すと、0.1MHz ステップで周波数が下がります。

▶▶ キーを押し続けると、周波数の高い局を自動的に検索します。

◀◀ キーを押し続けると、周波数の低い局を自動的に検索します。

### ◆ メニュー表示時

▶▶ キーを押すと、選択した項目が決定されます。

## ⑨ ▲ キー、▼ キー

◆ 音楽再生、FM ラジオ、ボイス再生モード時

▲ キーを押すと、音量が大きくなります。

▼ キーを押すと、音量が小さくなります。

▲ キーを押し続けると、音量が早く大きくなります。

▼ キーを押し続けると、音量が早く小さくなります。

◆ メニュー表示時

▲ キーを押すと、上の項目に移動します。

▼ キーを押すと、下の項目に移動します。

これらのキーを押して、セッティングメニューの操作時(P.37)に設定値を選びます。

## ⑩ イヤホン接続端子／ライン入力接続端子

この端子にイヤホンを接続します。

ライン入力録音を行うときは、LINE 入力ケーブルを接続します。

## ⑪ USB ケーブル接続端子

パソコンと接続する場合は、この端子に USB ケーブルを接続します。

別売りの AC アダプターを利用して充電する場合は、USB ケーブルを接続します。

## ⑫ ストラップホルダー

この部分に、付属のネックストラップを通して使います。

## ⑬ 内蔵マイク

この部分は、音声の録音(ボイスレコーディング)時にマイクとして使います。

## ⑭ 内蔵スピーカー

この部分は、出力の設定を切り替えることでスピーカーとして使います。

## 表示部

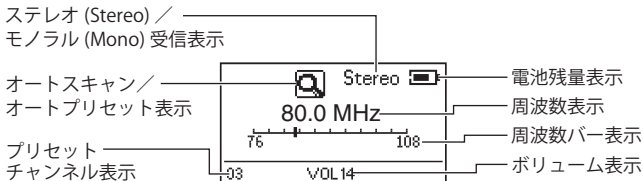
### 再生時表示



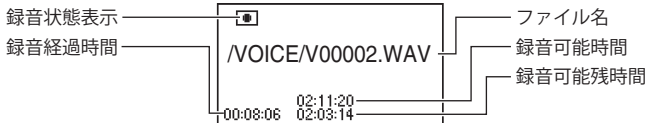
### ヒント

- 再生する曲や設定により、表示されない項目があります。

### FM ラジオ表示



## 録音時表示

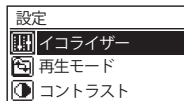


## メニュー表示

メインメニューおよびセッティングメニューを選択した場合は、下図の表示が表示されます。



メインメニュー



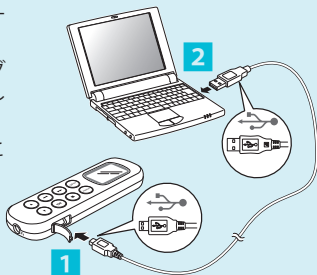
セッティングメニュー

# 準備

## ▶ パソコンとの接続と切り離し

### 接続

- 1 本機の接続端子と付属 USB ケーブルのミニプラグを接続します。
- 2 付属 USB ケーブルの USB プラグとパソコンの USB 端子を接続します。
- 3 本機の表示が次のようになることを確認します。



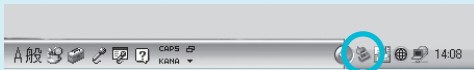
## 切り離し(Windows 2000/Me/XP/Vista の場合)

### ヒント

クリック .....マウスの左ボタンを押して、はなす操作です。  
ダブルクリック .....マウスの左ボタンを2回素早く押して、はなす操作です。  
右クリック .....マウスの右ボタンを押して、はなす操作です。

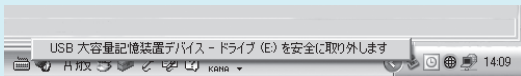
### 1 パソコンのタスクバーにある「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。

- 「USB 大容量記憶装置デバイスードライブを安全に取り外します」が表示されます。



### 2 「USB 大容量記憶装置デバイスードライブを安全に取り外します」をクリックします。

- 「ハードウェアの取り外し」が表示されます。

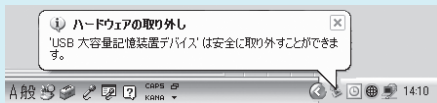


### 重要

- Windows XP および Vista に接続の場合、本機はポータブルメディアデバイスとして認識しますので、「ハードウェアの安全な取り外し」の表示が表示しません。「取り外し不可」が表示されている間は、本機をパソコンから取り外さないでください。本機がパソコンとのデータのやり取りを行っていないことを確認してから取り外してください。

準備

**3** 「ハードウェアの取り外し」の×をクリックします。



**4** 本機をパソコンから外します。

準備



- パソコンから切り離すと、本機に電源が入る場合もあります。
- 手順2にて左クリックするタイミングにより、本機の表示が点灯したままになることがあります。



## ▶ CD からの録音方法

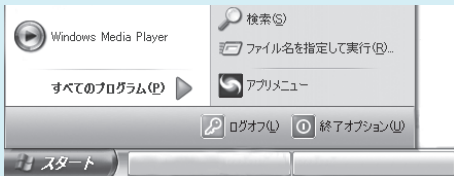
CD から録音する場合、曲をパソコンに音楽データとして取り込み(ダウンロード)、その後その音楽データを本機にダウンロードします。この CD からパソコンへのダウンロードまたパソコンから本機へのダウンロードを行うときは、Windows に付属されている Windows Media Player を使います。



ヒント▶

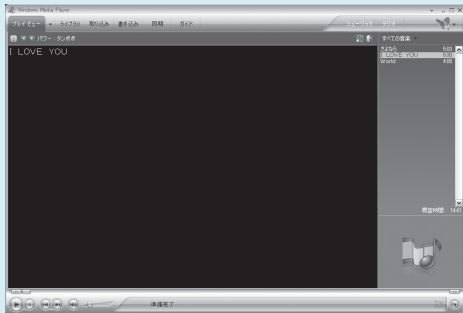
- Windows Media Player 9 の使い方については、サイレンのホームページをご覧ください。

- 1 スタートメニューから Windows Media Player のアイコンをクリックします。



準備

- Windows Media Player 10 を開くと、次のような表示になります。



- Windows Media Player 10 の使い方については、本機に同梱されています「CDからの録音方法(Windows Media Player 使用時)」をご覧ください。

### 重要

- Windows XP および Vista にて曲を削除する場合、本機はポータブルメディアデバイスとして認識しますので、「スタート」→「マイコンピュータ」→「オーディオデバイス」で DP250 を選んで、メディアフォルダ内から音楽データを削除してください。パソコンによっては「スタート」→「マイコンピュータ」→「その他」で DP250 を選んで Internal Storage 内から音楽データの削除になる場合もあります。

### ヒント

- ファイルを追加すると本機のデータベースが再度作成され、再度電源を入れたときに「新規ファイルを検索中」が表示されます。

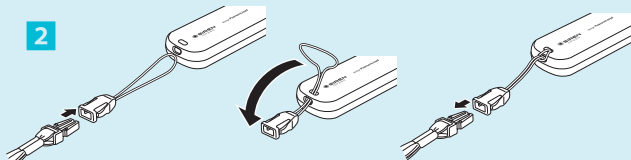
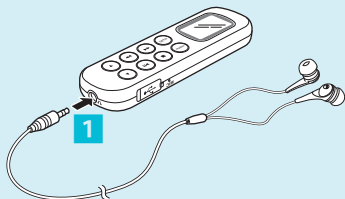
# 基本の操作

## ▶ 音楽を聴く(基本)

### 準備

**1** 付属のイヤホンをイヤホン接続端子に接続します。

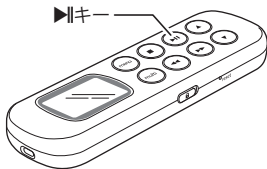
**2** ネックストラップを下図のようにストラップホルダーに取り付けます。



**注意**

- お使いになるときは、本機が外れて落ちないようにネックストラップを合わせてお使いになることをお勧めいたします。万が一、本機を落とされると、故障の原因となることがあります。

## 再生の基本操作



### ✓ 注意

- 曲を再生する前に、▼ キーを押して音量(ボリューム)は、最小にしてください。音量が大きいと、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

### 1

▶|| キーを 1 秒以上押し、電源を入れます。

- 表示部に SIREN のロゴが表示され、再生表示になります。
- ▶|| キーを放してから、SIREN のロゴが表示されるまでに約 2 秒程度かかる場合があります。

### 2

再度、▶|| キーを押し、曲を再生します。

- 再生を一時停止するには、▶|| キーを押します。

### 3

電源を切るには、表示が消えるまで■キーを押し続けます。

- 「長押しで電源 OFF」が消える前にキーを離すと、元の状態に戻ります。

### 📎 ヒント

- 電源を切る前に他のモードにしている場合でも電源を入れ直すと音楽再生モードになります。
- 音楽の再生中に電源を切って再度電源を入れた場合は、電源を切った時の音楽のトラックの頭になります。(トラックレジューム機能)

## 再生の応用操作

### 再生時に使うその他のキー

- 1 ▶▶ キーを 1 秒以上押し、電源を入れます。
- 2 再度、▶▶ キーを押し、曲を再生します。
- 3 ▲ キーまたは ▼ キーを押し音量を調整します。
  - ▲ キーを押すと、音量が大きくなります。
  - ▼ キーを押すと、音量が小さくなります。
  - ▲ キーを押し続けると、音量が早く大きくなります。
  - ▼ キーを押し続けると、音量が早く小さくなります。
- 4 ▶▶ キーを押すと、次の曲に移ります。
  - ▶▶ キーを押し続けると、曲の早送りができます。
- 5 ◀◀ キーを 1 回押すと、再生中の曲の最初に戻ります。
  - ◀◀ キーを続けて押すと、前のデータ番号の曲に移ります。
  - ◀◀ キーを押し続けると、曲の早戻しができます。

**ヒント**


- 曲の早送り、早戻しは、曲の停止中でも行えます。

## ▶ 音楽を聴く(応用)

### ■ カテゴリーに分けて音楽を聴く ■

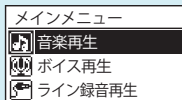
本機では、音楽データのID3を使ってアーティスト、アルバム、ジャンル、タイトルのカテゴリーに分けて表示することができます。

**1** menu キーを押します。

**2** ▲ または ▼ キーを押し、「音楽再生 」を選び、▶▶ キーを押します。

- 次のカテゴリーが表示されます。

「全曲再生」、「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」「タイトル」。



**3** ▲ または ▼ キーを押し、カテゴリーを選びます。

- それぞれのカテゴリーで分けられた音楽データが表示されます。
- 「全曲再生」を選ぶと、本機内全ての音楽データが再生可能になります。

**4** ▲ または ▼ キーを押し、音楽データを選び、▶▶ キーを押します。

- 音楽データの再生が始まります。



ヒント

- 同じアーティストでもID3の表記が違っていると、別のアーティストとして分けられることがあります。

## ■ 区間リピートの設定 ■

再生中の曲のお聴きになりたい区間を繰り返し再生できます。

- 1 区間リピートさせたい音楽データを再生します。(P.18)
- 2 区間リピートをさせたい最初の部分がきた時に、multi キーを短く押します。
  - 表示部には [A-] が表示されます。
- 3 区間リピートをさせたい最後の部分がきた時に、再度 multi キーを押します。
  - 表示部は [A-B] となり、設定した区間のみ演奏が繰り返されます。
- 4 区間リピート演奏を解除するには、multi キーを押します。
  - 表示部から区間リピートを示すアイコンが消えます。



**注意**

- 区間リピートは、トラック間を越えての設定はできません。同一のトラック内の設定となります。

## ▶ multi キーを使う

multi キーには、よく使う機能を予め設定することができます。Multi キーを押すだけで、それらの機能を簡単に呼び出して使うことができます。

設定できる機能は、次のようになります。

曲検索(音楽再生)、FM トランスミッター、イコライザー、再生モード、出力設定。

### 1 multi キーを 1 秒以上押します。

- 登録された機能が働きます。
- 初期状態は、曲検索(音楽再生)が設定されています。

### 2 呼び出した機能に応じたキーの操作をしてください。

- 曲検索(音楽再生) (P.20)、FM トランスミッター (P.47)、イコライザー (P.38)、再生モード (P.39)、出力設定 (P.47)。

### ヒント

- Multi キーに設定されている機能を変更するには、セッティングメニューの multi キー設定で行ってください。

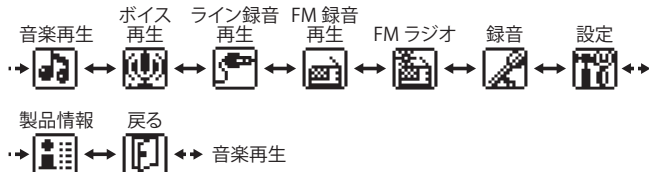
### 注意

- 音楽再生中は multi キーを短く押すと「A-B 区間リピート」設定になります。multi キー設定機能を表示するには、1 秒以上キーを押して下さい。

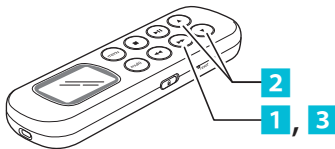


## ▶ メインメニューについて

本機には音楽再生以外にも、次のようなモードがあります。メインメニューを使ってモードを切り換えます。



## ■ モードを変更するには



- 1 メインメニューが表示されるまで、menu キーを押します。
- 2 ▲ または ▼ キーを押して、モードを選びます。
- 3 ►► キーを押します。

## FM ラジオを聴く

本機の FM ラジオ機能を使って、FM 放送をステレオで聴くことができます。また、受信できる局を簡単に予めセットするプリセットモードがあります。プリセットできる局は 20 局までです。

FM 放送をお聴きになりながら、その局を録音することも可能です。

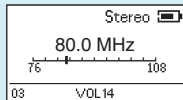
### FM 放送を聴く



ヒント

- 初めて本機の FM ラジオをお使いになるときは、本機は自動でオートプリセットを行い、受信できる局をプリセットしていきます。

- 1 メインメニューにて ▲ または ▼ キーを押し、「FM ラジオ」を選択して ►► キーを押します。
  - この時、プリセット番号が表示部の左下隅に表示されている場合は、◀◀ または ►► キーを押して FM ラジオモードにしてください。



- 2 ◀◀ または ►► キーを押すたびに、周波数は 0.1MHz ステップで変わります。
  - ◀◀ または ►► キーを押し続けると、自動的に局の検索を始めるオートスキャンを始めます。局を受信するとオートスキャンは停止します。
  - ステレオ放送を受信すると表示部に「Stereo」が表示されます。
  - 受信した局に合わせて、音量を調節してください。

**3** FM ラジオの設定を変更するには、menu キーを長押し、FM ラジオのセッティングメニューを表示させます。

- menu キーを短く押すと、メインメニューが表示されます。

**4** FM ラジオモードを終わるには、FM ラジオのセッティングメニュー「戻る」を選択し、▶▶ キーを押します。

- 音楽再生モードになります。



#### 重要

- FM 放送を録音する場合でも、イヤホンは接続しておいてください。  
イヤホンを接続しませんが、FM ラジオを受信できなくなります。イヤホンがアンテナの役目をしています。従って、FM ラジオを聴く、録音する場合は、必ずイヤホンを接続した状態にしてください。



#### ヒント

- FM ラジオを選んでいると、自動的に電源が切れることはありません。
- FM ステレオ放送を受信しているときに、電波が弱くと「Stereo」の表示は出ません。「Mono」の表示が出て、音声はモノラルになります。
- FM ラジオのセッティングメニューにて、「元の FM 画面に戻る」を選ぶと、FM ラジオの画面に戻ります。また、「戻る」を選ぶと、音楽再生に戻ります。

## よく聴く局を登録する(プリセット)

- 1 「FM 放送を聴く」の手順 1 から 2 を行い、登録したい局に合わせます。
- 2 menu キーを長押しします。
  - FM ラジオのセッティングメニューが表示されます。
- 3 ▲ または ▼ キーを押して、「プリセットに登録」を選び▶▶ キーを押します。
  - 登録(プリセット)されている局のリストが表示されます。
- 4 プリセットしたい局の番号を選ぶために、▲ または ▼ キーを押します。
  - 登録なしと表示されている番号は局が登録されていません。
  - プリセットできる局は 20 局までです。
- 5 ▶▶ キーを押します。
  - 「はい」、「いいえ」が表示されますので、▲ または ▼ キーを押して登録する場合は「はい」、登録しない場合は「いいえ」を選択して▶▶ キーを押してください。
  - プリセットされると選択した局の周波数が表示されます。
- 6 手順 1 から 5 を繰り返し、プリセット番号の 20 番まで登録することができます。
- 7 FM ラジオモードに戻るには、menu キーを押して、「元の FM 画面に戻る」を選び▶▶ キーを押します。

## ■ 自動でプリセットを行う(オートプリセット) ■

本機のオートプリセット機能を使うと、自動的に受信できる局を探し出し、それらの局をプリセットします。



重要


- この機能を使うと、事前にプリセットされた局は全て、この機能にて自動的に受信した局に入れ替わります。

**1** メインメニューにて FM ラジオモードにします。

**2** menu キーを長押しします。

- FM ラジオのセッティングメニューが表示されます。

**3** ▲ または ▼ キーを押して、「オートプリセット」を選び、▶▶ キーを押します。

- オートプリセットが始まります。オートプリセット中は  マークが出ます。
- 自動的にプリセット番号の P01 ~ P20 番まで登録されます。
- 受信できる放送局が 20 局以下の場合は、受信できる放送局のみプリセットされます。

## ■プリセットした局を聴く■

- 1 メインメニューにて FM ラジオモードにします。
- 2 menu キーを長押しします。
  - FM ラジオのセッティングメニューが表示されます。
- 3 ▲または▼キーを押して、「登録したプリセット」を選び▶▶キーを押します。
  - 登録(プリセット)されている局のリストが表示されます。
- 4 ▲または▼キーを押して、受信したい局のプリセット番号を選びます。
- 5 ▶▶キーを押します。



### ヒント

- 表示部にプリセット番号が表示しているプリセットモードから周波数を変えるには、◀◀または▶▶キーを押してください。プリセット番号が表示部より消え、周波数を変更できる FM ラジオモードになります。◀◀または▶▶キーを押してご希望の周波数へ変更してください。

## ■プリセットした局を削除する■

- 1 メインメニューにて FM ラジオモードにします。
- 2 menu キーを長押しします。
  - FM ラジオのセッティングメニューが表示されます。
- 3 ▲または▼キーを押して、「1 つ削除」または「全て削除」を選び、▶▶キーを押します。
  - 登録(プリセット)されている局のリストが表示されます。
- 4 「1 つ削除」を選んだ場合、▲または▼キーを押して、削除したい局のプリセット番号を選びます。
- 5 ▶▶キーを押します。
  - 表示部に「はい」、「いいえ」と表示が出ます。
- 6 ▲または▼キーを押して、「はい」を選んで、▶▶キーを押します。
  - 削除しないときは、▲または▼キーを押して、「いいえ」を選んで、▶▶キーを押します。
  - 「1 つ削除」を選んだ場合は、手順の 4 から 6 を繰り返し、他の局も削除できます。
  - 「全て削除」を選んだ場合は、▲または▼キーを押し、▶▶キーを押してください。「はい」、「いいえ」が表示しますので、削除する場合は、「はい」を選んで▶▶キーを押してください。どのプリセット番号を選んでも「はい」を押しますと全てのプリセット番号が削除されます。
- 7 元の FM 画面に戻るには、▲または▼キーを押し、「元の FM 画面に戻る」を選んで▶▶キーを押してください。

## FM 放送の録音

- 1 「FM 放送を聴く」(P.24) または「プリセットした局を聴く」(P.28)の手順に従い、録音したい局を選びます。
- 2 録音を開始するには、▶|| キーを押します。
  - ▶|| キーを再度押すと録音の一時停止になります。
- 3 録音を止めるには、■ キーを押します。
  - 元の FM 画面に戻ります。



### ヒント

- 録音されたファイルは、F0000x.wav というファイル名になります (P.34)。
- 録音する品質を選べます (P.44)。選ぶ品質により、録音の質が変わってきます。
- 録音されたデータは WAV 形式のデータとして保存されます。
- メインメニューの「録音」モードからも FM 録音を行うことができます。「FM 録音」メニューを選択すると FM ラジオモードになりますので、上記手順の 2 から 3 を行ってください。

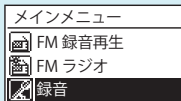



## ▶ 音声の録音 (ボイスレコーディング)

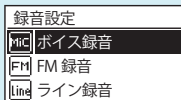
本機の音声録音機能を使って、用件や会議の音声を録音できます。

### ■ ボイスレコーディング ■

- 1 メインメニューにて、▲または▼キーを押し、「録音 」を選び、▶▶キーを押します。  
● 録音のメニューが表示されます。




- 2 ▲または▼キーを押し、「ボイス録音 」を選び、▶▶キーを押します。  
● 「録音開始」、「録音停止」が表示されますので、録音を開始する場合は「録音開始」、録音しない場合は「録音停止」を選んで、▶▶キーを押してください。  
● 録音が始まります。  
● 一時停止するには、▶||キーを押します。再び録音を始めるには、再度▶||キーを押します。



- 3 録音を止めるには、■キーを押します。  
● 録音を止めると、メインメニューの表示になります。

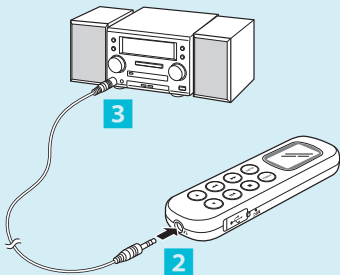
- 4 再度録音を行うには、▶▶キーを押して、手順2から3を繰り返してください。

-  **ヒント**
- ボイスレコーディングを選んでいると、自動的に電源が切れることはありません。
  - 録音されたファイルは、V0000x.wav というファイル名になります (P.34)。
  - 録音する品質を選べます (P.44)。選ぶ品質により、録音の音質や録音時間が変わってきます。

## ▶ ライン入力

### 準備

- 1 接続をする前に本機とお使いになるオーディオ機器の電源を切ります。
- 2 ライン入力ケーブルと本機のイヤホン接続端子を接続します。
- 3 ライン入力ケーブルのプラグをお使いになるオーディオ機器のイヤホンまたはヘッドホン出力端子へ接続します。
- 4 本機とお使いになるオーディオ機器の電源を入れます。




ヒント

- オーディオ機器のヘッドホン端子の形状が合わない場合は、市販の変換アダプターをご利用ください。

## ライン入力録音

- 1** メインメニューにて、▲または▼キーを押し、「録音」を選び、▶▶キーを押します。

●録音のメニューが表示されます。

- 2** ▲または▼キーを押し、「ライン録音」を選び、▶▶キーを押します。

●「録音開始」、「録音停止」が表示されますので、録音を開始する場合は「録音開始」、録音しない場合は「録音停止」を選んで、▶▶キーを押してください。

●録音が始まります。

●一時停止するには、▶||キーを押します。再び録音を始めるには、再度▶||キーを押します。

- 3** 録音を止めるには、■キーを押します。

●録音を止めると、ライン入力の操作を行う前のモードへ戻ります。

- 4** 再度録音を行うには、▶▶キーを押して、手順2から3を繰り返してください。



### ヒント

●ライン入力録音をしているときに曲と曲の無音部分を検知して、自動的に曲ごとにデータを分ける、オートシンク機能があります。詳細はP.45をご参照ください。

ライン入力を選んでいると、自動的に電源が切れることはありません。

●録音する音質を5段階で選べます(P.45)。選ぶ音質により録音できる時間が変わります。

●録音されたデータはMP3形式のデータとして保存されます。



## 注意

- ライン入力端子に入力する音楽の音量が大きい場合は録音したファイル再生時にノイズが発生する場合があります。ノイズが発生する場合は、入力する音量を下げてから録音してください。

## 録音データの再生

ボイスレコーディングやライン入力による録音、また FM 放送を録音したデータを再生します。

- 1 メインメニューにて、▲ または ▼ キーを押し、「ボイス再生」、「ライン録音再生」または「FM 録音再生」を選び、▶▶ キーを押します。
- 2 ▲ または ▼ キーを押し、再生するデータを選び、▶▶ キーを押します。



## ヒント

- 録音したデータも、音楽データと同様に色々な再生ができます (P.39)。  
但し、ボイス録音データのランダム再生、ランダムリピートは、設定できません。
- 録音されたファイルは、次のようなファイル名になります。  
FM ラジオ録音：F0000x.wav  
ボイスレコーディング：V0000x.wav  
ライン入力録音：L0000x.mp3

### ● 録音データについて

ボイス録音、FM ラジオ録音、ライン録音機能にて録音したデータを削除した後に、新規録音を行うと、削除したファイル番号は欠番となります。

下記の通り新規録音を行うと、新たにファイル番号が作成されますが、本動作はデータ管理上、新規録音データと、削除された以前の録音データの区別を明確にする為の仕様となっております。

全て削除	X00001.mp3 -- X00010.mp3
新規録音時	X00011.mp3 →

なお、録音ファイル名が X99999.mp3 になりますと、それ以降録音した場合は、最初の番号から上書きされていきます。

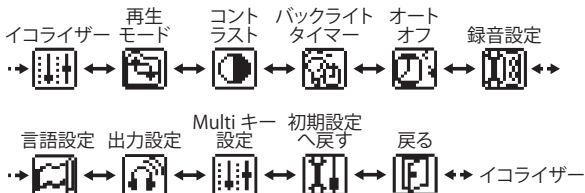
# 応用の操作

## 設定を変更するには

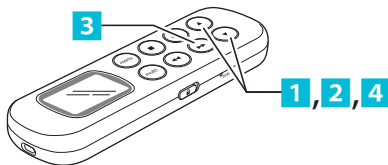
セッティングメニューを使うと、本機の再生方法や、音質などの様々な設定を変更できます。



- セッティングメニューでは、縦に表示される項目は ▲ または ▼ キーを押して選びます。



## ■ セッティングメニューの操作 ■



ヒント

- セッティングメニュー項目を選んで何も操作をしないと、元の表示に戻ります。

**1** メインメニューにて、▲ または ▼ キーを押し、「設定」を選び、▶▶ キーを押します。

- セッティングメニューが表示されます。

**2** ▲ または ▼ キーを押し、設定を選びます。

**3** ▶▶ キーを押します。

- 選んだ項目の設定内容が表示されます。
- 選んだ項目により、さらに項目を選ぶ場合があります。

**4** ▲ または ▼ キーを押し、項目を選び、▶▶ キーを押します。

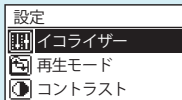
- ▶▶ キーを押すと、その項目が決定されます。
- セッティングメニューに戻ります。

**5** 他の設定を行うときは、手順 2 から 4 を繰り返してください。

## ■ イコライザー ■

この機能を設定すると、色々な音質で曲の再生が楽しめます。  
イコライザーは、予め設定されている6種類のイコライザーから曲や好みにあった設定を選びます。

- 1 セッティングメニューにて、▲または▼キーを押し、「イコライザー」を選びます。



- 2 ►► キーを押します。  
● イコライザーのアイコンが表示されます。

- 3 ▲または▼キーを押して、設定内容を選びます。  
● 次の6種類の再生方法が予め設定されています。  
ノーマル、Xbass、ロック、ジャズ、クラシック、ポップ。  
お聞きになる曲や好みに合わせてお選びください。

- 4 ►► キーを押します。  
● セッティングメニューの表示に戻ります。



ヒント




- 再生中の表示とイコライザーの関係は次のようになります。  
 = ノーマル、 = Xbass、 = ロック、 = ジャズ、 = クラシック、 = ポップ



## 再生モード




音楽や録音したデータを再生する時に、色々な再生モードに変更できます。

- 1 セッティングメニューにて、▲または▼キーを押し、「再生モード」を選択します。
- 2 ►►キーを押します。
  - 再生モード表示されます。
- 3 ▲または▼キーを押し、好みの再生モードを選びます。
- 4 ►►キーを押します。
  - セッティングメニューの表示に戻ります。

設定	
	イコライザー
	再生モード
	コントラスト




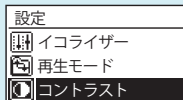
### ヒント

- 再生中に表示されるマークと再生モードの関係は次のようになります  
□ = ノーマル、 = 1 曲リピート、 = 全曲リピート、  
\$ = ランダム再生、 = ランダムリピート
- 再生中に、任意の区間を繰り返し聴きたい場合は、区間リピートの機能(P.21)をお使いください。

## ■ コントラスト ■


表示部の明るさを変更できます。

- 1 セッティングメニューにて、▲または▼キーを押し、「コントラスト」を選びます。
- 2 ►►キーを押します。
  - レベルが表示されます。
- 3 ◀◀または►►キーを押し、コントラストを調整します。
- 4 ►►キーを押します。
  - セッティングメニューの表示に戻ります。



## ■ バックライトタイマー ■

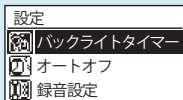
バッテリーの消費を節約するために、表示部のバックライトが点灯している時間を変更できます。

**1** セッティングメニューにて、▲または▼キーを押し、「バックライトタイマー」を選びます。

**2** ►► キーを押します。  
● 「3秒」「5秒」「10秒」「15秒」「常にオン」が表示されます。

**3** ▲または▼キーを押し、バックライトが点灯する時間を選びます。  
● 「常にオン」を選ぶと、バックライトは点灯したままになります。

**4** ►► キーを押します。  
● セッティングメニューの表示に戻ります。



ヒント

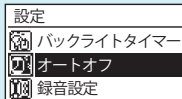
● バッテリーの消費を節約する為に、バックライトの点灯時間は5秒に設定することをお勧めします。

応用の操作

## ■ オートオフ ■

電源を自動的に切る設定ができます。

- 1** セッティングメニューにて、▲または▼キーを押し、「オートオフ」を選びます。



- 2** ►► キーを押します。  
● 「オフ」「1分」「2分」「5分」「10分」「15分」が表示されます。

- 3** ▲または▼キーを押し、時間を選びます。

- 4** ►► キーを押します。  
● セッティングメニューの表示に戻ります。



注意

- オートオフ機能は再生中、録音中は働きません。




ヒント

- 「オフ」を選ぶとオートオフは働きません。
- オートオフ機能は、停止状態(■)の時のみ働きます。一時停止中(II)は働きません。

## 録音設定

録音するフォーマットやレートを変更することができます。録音設定は内蔵マイク、FM 録音とライン入力で別々に設定できます。

**1** セッティングメニューにて、▲または▼キーを押し、「録音設定」を選びます。

**2** ►► キーを押します。

- 「ボイス録音設定」「FM 録音設定」「ライン録音設定」が表示されます。

**3** ▲または▼キーを押し、「ボイス録音設定」、「FM 録音設定」または「ライン録音設定」を選びます。

**4** ►► キーを押します。

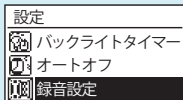
**5** ▲または▼キーを押し、選んだ録音設定を変更します。

**6** ►► キーを押します。

- 前の表示に戻ります。

**7** menu キーを長押しします。

- セッティングメニューの表示に戻ります。



## ■ 録音設定について ■

### ボイス録音設定を選んだ場合

- 内蔵マイクを使ったボイスレコーディングの録音設定になります。
- 録音データは WAV 形式になります。
- レートは、次の 5 種類から選べます。  
8000Hz、11025Hz、16000Hz、22050Hz、32000Hz。
- フォーマットは次の 3 種類から選べます。  
IM ADPCM = IMA ADPCM、MS ADPCM = MS-AD PCM、PCM = PCM

### FM 録音設定を選んだ場合

- FM ラジオの録音設定になります。
- 録音データは WAV 形式になります。
- レートは、下記の 1 種類の固定となります。  
44100Hz
- フォーマットは次の 3 種類から選べます。  
IM ADPCM = IMA ADPCM、MS ADPCM = MS-AD PCM、PCM = PCM

## ライン録音設定を選んだ場合

- ライン入力 of 録音設定になります。
- 録音データは MP3 形式になります。
- ビットレートが、次の 5 種類から選べます。  
96Kbps、112Kbps、128Kbps、160Kbps、192Kbps。
- オートシンク機能が選べます。  
設定時間を選ぶとオートシンク機能が働きます。オートシンク機能が働くとライン入力にて録音を行う曲と曲の間に選んだ時間以上の無音部分を検知して、データを分けて保存します。
- 時間は、3 秒～ 10 秒の間で選べます。  
「オフ」を選ぶとオートシンク機能は働きません。




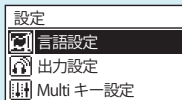
### ヒント

- 本機で作ったデータをパソコンや他の機種で再生する場合、その機種が再生できるデータ形式やフォーマットにする必要があります。
- オートシンク機能が働いていても、録音する曲により曲と曲の間の無音部分が短いと 1 つの曲として録音されることがあります。また、1 つの曲でも、無音または無音に近い部分があると 2 つ以上の曲として録音されることがあります。

## 言語

メニュー画面を英語、日本語の言語で表示できます。


- 1 セッティングメニューにて、▲または▼キーを押し、「言語設定 」を選びます。
- 2 ►► キーを押します。
- 3 ▲または▼キーを押して、表示させる言語を選びます。
- 4 ►► キーを押します。
  - セッティングメニューの表示に戻ります。





## 出力設定を変更する

本機のイヤホンから出る音を本機の内蔵スピーカーから出したり、微弱電波を利用して車の FM ラジオやお持ちの FM ラジオから音を出したりすることが出来ます。

- 1 セッティングメニューにて、▲または▼キーを押し、「出力設定」を選びます。



- 2 ►► キーを押します。  
● 「イヤホン」「FM トランスミッター」「スピーカー」が表示されます。

- 3 ▲または▼キーを押し、「イヤホン」「FM トランスミッター」または「スピーカー」を選びます。

- イヤホンから音声を出力する場合は、「イヤホン」を選びます。FM トランスミッターを使って FM ラジオから音声を出力する場合は、「FM トランスミッター」を選びます。内蔵スピーカーから音声を出力する場合は、「スピーカー」を選びます。

- 4 ►► キーを押します。  
● 「FM トランスミッター」を選ぶと、使用する FM の周波数を設定する表示になります（「FM トランスミッター」を使用する場合は、必ずイヤホンをさしてください）。

- 5 FM トランスミッターの周波数を設定する場合は、▲または▼キーを押し、周波数を選んで、►► キーを押します。

- 6 menu キーを長押しします。  
● セッティングメニューの表示に戻ります。



## ヒント

- FM トランスミッターは微弱電波を利用しているため、電波や周囲の状況により、お持ちの FM ラジオで受信した時にステレオにならないことがあります。
- 「内蔵スピーカー」を選んでスピーカーより音を出す場合は、イヤホンジャックよりイヤホンを抜いてください。イヤホンを接続したままでは内蔵スピーカーより音は出ません。
- FM トランスミッター機能を利用して FM ラジオで受信する場合、近くに放送局のない設定周波数を選択してください。近くに放送局がある場合、受信しなかったり、ノイズがひどく発生する場合があります。
- FM トランスミッター機能をお使いになる場合は、必ずイヤホン等を接続した状態にしてください。接続しない場合は FM ラジオにて受信できません。イヤホンのリード線がアンテナの役目をしています。

## multi キーに機能を設定する

multi キーによく使う機能を設定することができます。multi キーに設定できる機能は、次の機能です。

曲検索、FM トランスミッター、イコライザー、再生モード、出力設定。  
これらの機能を multi キーに設定すると、メニューを使わなくても、それらの機能呼び出して使ったり、設定を変更したりできます。

**1** セッティングメニューにて、▲ または ▼ キーを押し、「Multi キー設定」を選びます。

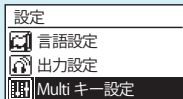
**2** ►► キーを押します。

- 「曲検索」「FM トランスミッター」「イコライザー」「再生モード」「出力設定」が表示されます。

**3** ▲ または ▼ キーを押し、multi キーに設定する機能を選びます。

**4** ►► キーを押します。

- セッティングメニューの表示に戻ります。



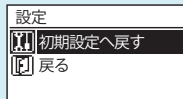
## ■ セッティングメニューを初期状態に戻す ■

セッティングメニューを使って変更した設定を初期の状態に戻すことができます。

**1** セッティングメニューにて、▲または▼キーを押し、「初期設定へ戻す」を選びます。

**2** ►► キーを押します。  
● 設定中の後に完了が表示されます。

**3** ►► キーを押します。  
● セッティングメニューの表示に戻ります。



## ▶ データの削除

音楽データや録音データを削除する場合は、パソコンを使って削除します。

**重要** ●一度削除したデータは復活することができません。

- 1 「パソコンとの接続と切り離し」(P.12 ～ P.14 参照)に従ってパソコンと接続します。

### Windows XP および Vista の場合

- 2 「スタート」→「マイ コンピュータ」→「オーディオデバイス」→「DP250」→「メディア」として、メディアファイルを開きます。
  - パソコンによっては「スタート」→「マイコンピュータ」→「その他」で DP250 を選んで Internal Storage 内から音楽データの削除になる場合もあります。

### Windows 2000 および me の場合

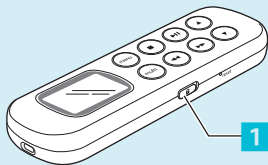
- 2 デスクトップ画面より「マイ コンピュータ」→「リムーバブルディスク」(DP250 とと思われるもの)として、このディスクを開きます。
- 3 削除したいフォルダーまたは音楽データを右クリックした後、「削除」を選びます。
- 4 完全に消去しますかと聞かれますので、「はい」を選んでください。
  - 「はい」を選ぶとデータは完全に消去されます。バックアップを取っていないデータは、バックアップを取ってから削除することをお勧めします。
- 5 「パソコンとの接続と切り離し」に従ってパソコンから取り外します。

## ▶ 間違ってキーを押さないために

### ■ ホールド機能について

ホールド機能を使うと、本機のキー操作を使えなくすることができます。誤ってキーを押してしまうことを防ぎたいときにお使いください。

- 1 ホールド (🔒) キーを左側にスライドさせます。
  - 「ホールド中」が表示された後、ホールドキー以外のキーは使えなくなります。
  - 本機がホールド状態のときは、表示部に「🔒」が表示されます。



- 2 ホールド機能を解除するには、ホールド (🔒) キーを右側にスライドさせ元に戻します。



- 本機を衣服や鞆などの中に入れてご使用の際に、接触によりキーが押されて作動してしまう可能性があります。衣服や鞆などに入れてお使いの際は、必ずホールド状態にしてください。

## ▶ ファームウェアのアップグレードについて

ファームウェアをアップグレードすることで、機能を追加したり、より使い易くすることができます。



注意

- アップグレードを行う前に、下記の説明をお読みください。手順通りに行わない場合、本機が動作不能になる場合があります。なお、最新のファームウェアは、SIREN Web サイト [www.sirenjp.com/support/] からダウンロードしてください。
- ファームウェアをアップグレードする前に、本機に入っている重要なファイルは必ずバックアップを行ってください。

## ■ ホームページからのファームウェアのダウンロード方法 ■

- 1 SIREN Web サイト [www.sirenjp.com/support/] より、本機のファームウェアのアップグレード用のデータをダウンロードしてください。
  - ファームウェアのデータは、ファームウェアのデータと本機のファームウェアを書き換えするためのプログラム等と一緒に圧縮された状態です。
  - デスクトップ上にダウンロードすると、ダウンロードした後にデータが探しやすくなります。
- 2 ダウンロードしたデータをダブルクリックします。



DP250FIRMxxx.exe

- データの解凍が始まります。

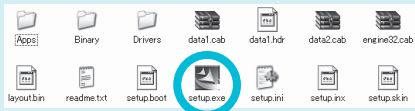
**3** データの解凍が始まると解凍先を聞いてきますので、デスクトップを指定します。

- デスクトップにファームウェアのフォルダーが解凍されます。

**4** 解凍されたフォルダーをダブルクリックして開いてください。

- フォルダーが開きます。

**5** 「setup.exe」をダブルクリックしてください。

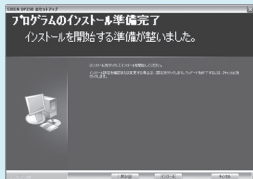
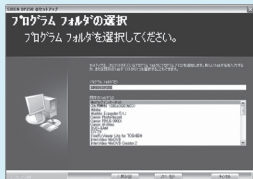
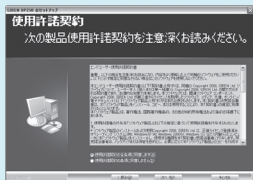


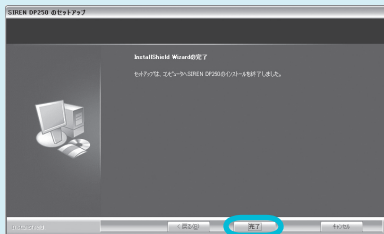
- ファームウェアの書き換えプログラムのインストールが開始されます。

**6** プログラムからの質問に答えながら、インストールを進めてください。









- 最後に「完了」を押してください。

**7** 「スタート」をクリックし、「SIREN DP250 Firmware Update」のアイコンが表示され、インストールされたことを確認します。

- インストールが成功して、初めて「スタート」をクリックすると「新しいプログラムがインストールされました。」と表示されます。
- もし、スタートメニューにアイコンが見えない場合は、「スタート」→「すべてのプログラム」(すべてのプログラムが表示します。)→「SIREN DP250」→「SIREN DP250 Firmware Update」がインストールされたことを確認してください。

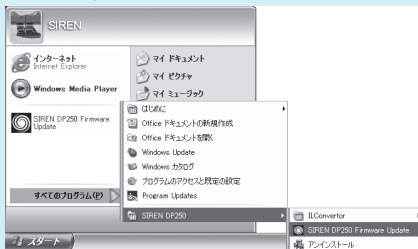




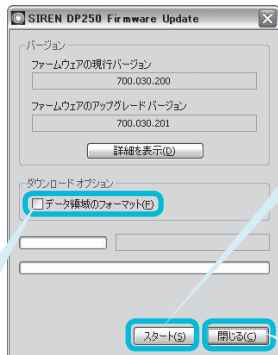
- ここでのプログラム名やファイル名または各表示は、改良のため予告無く変更されることがあります。  
また、一部の表示は取扱説明書中において読みやすくするために、文字を大きくしている箇所があります。

## ファームウェアのアップグレード方法

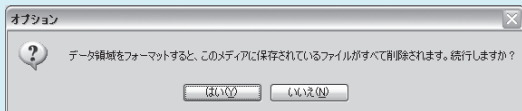
- 1 付属の USB ケーブルを使って、本機の USB 端子とパソコンの USB ポートを接続してください。
- 2 「スタート」→「すべてのプログラム」→「SIREN DP250」→「SIREN DP250 Firmware Update」を選択し、クリックします。



- ファームウェアのアップグレードのプログラムが立ち上がり、ウィンドウが開きます。
- 「スタート」をクリックし、「SIREN DP250 Firmware Update」のアイコンが表示されている場合は、そのアイコンをダブルクリックしてください。

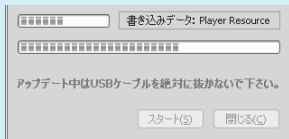


- 3** アップグレードを開始する前に「データ領域のフォーマット」欄チェックマークを確認し、本機内のデータを削除したくない場合は、チェックマークを外してください。
- 本機内のデータを削除しても良い場合は、「データ領域のフォーマット」欄チェックマークを入れてください。チェックマークを入れると、確認のためのウィンドウが開きます。「はい」をクリックしてください。



#### 4 「スタート」をクリックするとファームウェアの書き込みがスタートします。

- ファームウェアの書き込み中は、ケーブルを取り外したり、電源を切ったりしないでください。ファームウェアの書き込みに失敗して本機が動作しなくなることがあります。
- ファームウェアの書き込み状況は、下段 2 つのバーにより確認できます。



#### 5 ファームウェアの書き込みが完了すると、「完了」と「閉じる」ボタンが表示されますので、「閉じる」をクリックしてください。

- ファームウェアの書き込みが完了すると、下段 2 つのバー表示が右まで一杯になります。また「アップデート中は USB ケーブルを絶対に抜かないで下さい。」の表示が消えます。



- 6** 全ての作業が終了していることを確認してから、「パソコンとの接続と切り離し」の手順(P.12 ～ P.14 参照)に従って、本機をパソコンから取り外してください。

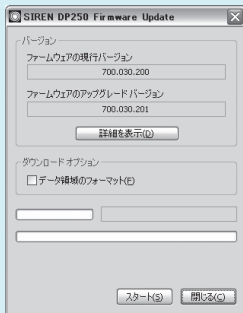
## リカバリーモードを使っのファームウェアのアップグレード方法

なんらかの不具合により、本機がパソコンに認識されない場合や、通常の方法ではアップグレードできない状態になったときには、リカバリーモードを使ってファームウェアのアップグレード行ってください。

- 1** 本機の電源を切ります。
  - 「電源が入らない」等の不具合で、完全に電源がオフになっているかどうか分らない場合は、本体の強制リセットを行ってください。
- 2** **▶||** キーを押すと同時に、パソコンの USB 端子へ接続してください。そのままの状態 で 10 秒以上 **▶||** キーを押した状態にしてから、**▶||** キーを離してください。
  - リカバリーモードに入ると、本体の LCD には何も表示しません。LCD に表示が出れば、リカバリーモードには入っていませんので、再度接続してください。

**3** 「スタート」→「すべてのプログラム」→「SIREN DP250」→「SIREN DP250 Firmware Update」を選択し、クリックします。

- リカバリーモードによるファームウェアの書き換えの場合は、最初に下記の画面が表示されます。



- パソコンに本機が認識されると、ファームウェアのアップグレードのプログラムが立ち上がり、ウィンドウが開きます。


**4** これ以降は、「ファームウェアのアップグレード方法」の手順3から行ってください。

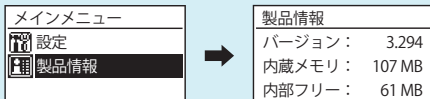
- リカバリーモードによるファームウェアの書き換え時はすべてのデータをリセットするため、保存しているデータもフォーマットする必要があります。「データ領域のフォーマット」欄にチェックマークを入れてください。マークを付けなかった場合でも、データ領域のフォーマットをするようにメッセージが表示することがあります。

## ■ ファームウェアのバージョンを確認

本機ファームウェアのバージョンを確認するには以下の方法で確認してください。

### 本機表示部で確認する

- 1 メインメニューにて、▲ または ▼ キーを押し、「製品情報 」を選び、  
▶▶ キーを押します。
  - ファームウェアのバージョン、メモリ容量と残メモリー量が表示されます。



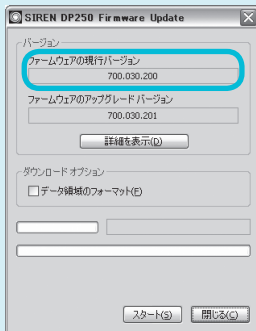
- 2 メインメニューに戻るには、menu キーを押します。



## ファームウェアのアップグレード画面で確認する

**1** 「ファームウェアのアップグレード方法」(P.57 ~ P.60) 手順 1 から 4 に従い、アップグレード画面を表示します。

- 右記の画面の「ファームウェアの現行バージョン」の欄に表示している数字が本機のファームウェアバージョンです。



## その他

### ▶ 故障かなと思ったら

製品が正常に作動しない場合には、まず以下の内容をご確認ください。

症 状	処 置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>● バッテリーが切れている場合があります。充電してください。</li></ul>
イヤホンから音が出ない	<ul style="list-style-type: none"><li>● イヤホンが奥まで挿し込まれているか確認してください。</li><li>● 音量が最小になっていないか確認してください。</li><li>● バッテリーが切れている場合があります。充電してください。</li><li>● イヤホンジャックに何か詰まっていませんか、またイヤホンジャックはきれいですか。</li><li>● ダウンロードしたデータ形式は正しいですか。</li></ul>
表示が正しくない	<ul style="list-style-type: none"><li>● 表示したい言語とデータ内文字データ (ID3 タグ) が正しく合っていますか。</li><li>● 本機では取り扱えない、データ内文字データ (ID3 タグ) ではないですか。</li></ul>
データのダウンロード・アップロードがうまくいかない	<ul style="list-style-type: none"><li>● バッテリーが切れている場合があります。充電してください。</li><li>● USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、USB ケーブルが切断などされていないことを確認してください。</li><li>● 本機のメモリーが不足状態になっていませんか。不用なデータは削除してください。</li></ul>

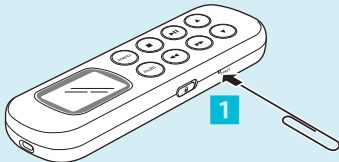
前記の表をご覧になっても問題が解決されない場合は、SIREN Web サイト ([www.sirenjp.com](http://www.sirenjp.com)) をご参照ください。

弊社 Web ページの「Support (サポートセンター)」にある「FAQ (よくある質問と答え)」ページでは、皆様からお寄せいただいたご質問とその回答を紹介しております。一般的な問題やご質問の多くは FAQ の情報で解決できますので、ぜひご参照ください。

FAQ をご覧になっても問題が解決されない場合は、下記に従い本機をリセットすることをお勧めします。

## ■ 本機のリセット方法 ■

- 1 リセットスイッチをゼムクリップなどを利用して押します。



本機をリセットしても問題が解決されない場合は、サポートセンターへお問い合わせください。

[www.sirenjp.com/support/](http://www.sirenjp.com/support/)

## ■ サポートセンターへのお問い合わせ方法 ■

ご使用の製品とご使用環境に関する「サポートに必要な情報」が必要となります。全ての情報をご用意いただいた上でお問い合わせいただきますと、より早い対応が可能となります。

### サポートに必要な情報

- ご使用の製品名「DP250」とファームウェアのバージョン
- 本体裏面シールに記載されているシリアル番号(S/N)
- 再生した音楽ファイルのデータ形式(WMA、MP3)
- 音楽ファイルを作成する際に使用したソフトウェアの名  
(RealOne、WMP など)
- 具体的なお問い合わせの内容  
行なった操作、手順、発生した不具合の状況について詳細にお知らせください。また、エラーメッセージなどが表示されている場合は、メモをとってお知らせください。
- パソコンのメーカー名、機種名  
(自作パソコンの場合は、マザーボードおよび CPU の名前)
- OS の種類とバージョン

その他

## お問い合わせ先

Web ページアドレス：[www.sirenjp.com/support/](http://www.sirenjp.com/support/)

電子メール：[support@sirenjp.com](mailto:support@sirenjp.com)

受付時間：平日（月曜～金曜）

電話：**0570-001-606**

午前 9:30 ～午後 9:30

※ IP 電話、PHS 電話では繋がりませんので、一般の電話か携帯電話でお掛けください。

## ■ 最新情報について ■

DP250 の最新情報に関しては、上記弊社 Web サイトにてご覧ください。また、ユーザー登録をしていただくと、最新情報をメールにてお送りします。

## ■ 製品の修理／交換について ■

製品の修理／交換の受付先はサポートセンターです。製品に不具合が発生し、修理が必要と思われる場合は、ご購入店へ製品をお持ちにならずに、まずサポートセンターへお問い合わせください。不具合の内容によっては、修理をしなくとも解決できる場合がございます。

その他

## 修理・交換の手順

1. お客様からサポートセンターへ直接お問い合わせください。
2. サポートセンター担当者が修理または交換の必要性を判断します。
3. 修理または交換が必要な場合、サポートセンターから返送整理番号(RMA 番号)と不具合品の返送方法をお客様にご案内します。
4. 不具合品を弊社指定先へ返送整理番号(RMA 番号)を記載してご返送ください。
5. 弊社にて返送品を受領後、お客様へ修理品または交換品を発送いたします。



- 修理依頼を受けました依頼品の内部のデータ関係については、一切保証致しませんので、ご了承ください。

サポートセンターからご案内する返送整理番号(RMA 番号)の無い返送品はお受け取りすることができません。製品を返送する前に必ずサポートセンターへお問い合わせ下さるようお願い致します。弊社指定先への返送時の送料はお客様のご負担となります。修理品または交換品の発送時の送料は、弊社が負担いたします。

製品の修理または交換の時には、製品保証書と購入日の証明が必要となります。ご購入の際に販売店で、製品保証書に販売日・販売店印を記入、捺印してもらうかそれらが記入されたシールなどをもらって下さい。購入の際のレシート、領収書、通信販売の場合は製品の送り状等も購入日の証明となります。製品保証書と購入日の証明が無い場合には、保証期間中でも無償修理または交換が受けられません。詳しくは保証規定をご参照ください。



